

◆飛騨地域特産作物エゴマの品種選抜

および省力機械化栽培体系の確立と新商品開発（2010～2012年度）

共同研究機関：岐阜県中山間農業研究所、アルプス薬品工業株式会社、岐阜県（飛騨地域農業改良普及センター、農業技術課）

研究概要：エゴマは、古来より特産品として飛騨地域で栽培され、獣害が極めて少なく、健康食材として注目されている理由から、地域における栽培面積は年々増加している。そこで、エゴマ栽培の拡大に寄与する栽培の開発や新たな需要を創出することにより、山間地の農業を活性化させ、遊休化した農地の再生を図る。

具体的には、1)エゴマ新品種の選定と省力技術の確立、2)エゴマを利用した新たな商品開発により、遊休農地の再生や新規需要創造へと発展し、地域特産物を用いた新しいビジネスモデルへの展開が期待できる。



課題提案者の感想：産学官連携コーディネーターの支援に対して



岐阜県中山間
農業研究所
鍵谷 部長

申請書及びプレゼン資料の作成に当たり、東海地域生物系先端技術研究会のコーディネーターから数回にわたり懇切な助言と支援をいただいた。

農業再生による地域活性化の視点で、1)事業趣旨の十分な理解、2)研究目標、ニーズの明確化、3)分かりやすい提案書の作成など、一貫した流れのなかで課題整理と読む側に立った記述をするよう意見をいただき、現地の状況を踏まえた提案事項の整理と、わかりやすい提案書の作成ができた。

当研究所で、今回初めて競争的資金の中核機関として採択され、この提案プロセスが大きなスキルアップに繋がった。適切な支援に感謝している。